

別記様式（第5条関係）

会 議 錄

会議の名称	令和7年度 第4回郷育推進会議	
開催日時	令和7年11月26日（水） 18:30～20:00	
開催場所	福津市役所本館2階 庁議室	
委員名	(1) 出席委員 木本会長、山口副会長、伊藤委員、宇都宮委員 大森委員、國廣委員、立山委員、濱田委員、柳田委員 (2) 欠席委員 中島委員	
所管課職員職氏名	郷育推進課長 芹野 文彦 郷育推進課郷育係長 宇藤 雄矢 郷育推進課郷育係 花田 智子	
会議	議題 (内 容)	1. 研修会参加報告 ・福岡ブロック社会教育委員研修会 ・九州ブロック社会教育研究大会福岡大会 2. 議題 ・市中央公民館の利活用に関するアンケート調査について
	公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	—
	傍聴者の数	0人
	資料の名称	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	記録内容の確認方法：会長による確認	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 開会のことば

2. 協議事項

（1）研修会報告

●会長

今回の研修会では公民館の活用に向けた内容があった。まずは研修に参加した委員各位からそれぞれ報告や感想をいただき、その内容を活かし本日は会議を進めていきたい。

①福岡ブロック社会教育委員研修会 10/17@大野城まどかぴあ 【資料①】

- ・パネルディスカッションで大野城市と粕屋町の事例報告。
- ・人材育成を視点に。
- ・社会教育とは何か。
- ・粕屋町の社会教育委員が自分たちの資質を上げていこうと努力をしている。

②九州ブロック社会教育研究大会福岡大会 11/13～14@アクロス福岡 【資料②】

◆分科会（11/13）

- ・「多年齢交流型の公民館活動」に会長、委員が参加。
- ・他市町村は少子高齢化、人口減少→今後どうしていくか。福津市はこれには当てはまらない。しかし、公民館の在り方は考えていかなければならぬ。

◆基調講演（11/14）

- ・島根県教育長による講演。
- ・公民館のあり方では、子どもたちを絡めて活動しているところが多いと感じた。活用の仕様に統一感がある。
- ・沖縄県南城市では人材育成のために2年間の市民大学を開催している。
- ・本市でも人材育成の仕組み作りに力を入れていきたい、拠点団体が必要。キッカケラボのさらなる周知・活用を。
- ・課題として、一定の人物ががんばって事業を支えている。次世代継承の必要性を感じた。
- ・この研修で、公民館としての視点で話が聞けたのはよかったです。

（2）議題 市中央公民館の利活用に関するアンケート調査について 【資料③】

●会長

公民館をどう利活用していくか、子どもの視点で聞いてみてはどうか。アンケート調査のたたき台を作成しているので、目を通してください。なお、今回は中学生および高校生を対象として作成している。

小学生も対象に含めることも考えたが、学習室としての活用を視野に入れ、今は中高生で作成しているもの。小学生も対象にした方がいいという意見があれば検討したい。

●委員

1回目の会議で公民館の活用方法を考えてみようという事だった。需要を把握することは大切。同じ規模の自治体や公民館でうまく利活用なされている例をリサーチしてみてはどうか。部活動の移行や交通の利便性なども加味してのリサーチ。

●会長

小学生をアンケート調査対象にした方がよいか。

●委員

小学生が公民館を利用することは難しいのではないか。

●会長

立地を考えると、小学生の利用は難しいのではないかと思う。中高生を対象とした方が実現に近いのではないか。

●委員

今の中高生は塾に通っている子が多いと思うので、塾に負けない魅力が必要。週1回くらいでも立ち寄って、ほっとできる場所作りが出来ればよい。

●会長

塾に負けない魅力という視点は必要なかもしない。公民館に「ここに行ったら役に立つ、楽しい」というものがあればよい。上手くいっている公民館の先進事例を参考にできないか。

●委員

特に受験生、集中して勉強したい子にとっては自分のリズムで学習できる場が必要。古賀市のリーパスプラザこがは、勉強するために通っている子が多いと聞く。

福津市に、公民館ではなくても学習できる施設があればいいと思う。公民館以外に学習施設があるのなら公民館は別の役割を担えばいいと思う。

●委員

児童センターフクスタが満員のことが多いので、ショッピングモールのフードコートに行っている中高生は多いと聞く。明るさがあり、安全な場所。かつ、親が行ってもいいと言える施設があればいい。アンケート調査の時点で、「調べものが出来る（Wi-Fi）」項目も入れてみてはどうか。

●委員

アンケート対象の中高生が中央公民館の存在を知らないかもしれない。アンケートには施設の概要を記載したほうがいいのでは。

●委員

中央公民館の魅力がないのではないか。学習室がないので、魅力的なスペースを作るはどうか。小学生は学習場所として利用している子は少ないのではないか。

●委員

「公共施設使用料見直し」の話を聞きにいったが、今後、中高生が利用する場合の使用料は発生するのか。もし使用料を徴収する場合、アンケート調査で利用可能な料金を聞き取りたい。また、利用時間帯、学習室に必要な設備、カメリアのよう

なカフェを併設した場合利用するかなどの項目を入れてみてはどうか。そうする事でアンケート結果を活かすことができる。

糸島市に未来型公民館があり、有志で運営して5年間存続している。参考になるのではないか。

公民館の名称については企業名を入れる工夫等をして、施設を存続していくのはどうか。

●会長

カメリアは指定管理になった事で飲食等が可能になったのか。中央公民館は市の直営施設なので制限があるのか。

●事務局

施設の根拠としている法令に違いがある。中央公民館は社会教育法における社会教育施設にあたるので制限が厳しい。

●委員

使用料は中高生からは徴収したくない。アンケートの形式で、レイアウトに工夫して作成して欲しい。内容はこれでいい。

●委員

中央公民館を知らない中高生が意外と多いと思われる。アンケートには、中央公民館の説明を入れて、「中高生の皆さんの意見を聞きたい」という説明が必要。

中央公民館の画像やQRコードを入れてスマホから回答する方式がいいのでは。事務局は紙ベースのアンケート調査を考えているのか。

●事務局

QRコード、もしくは学校に協力していただき、紙ベースで調査を行うことを考えている。

●委員

現在学校の現場では、アンケート等についてはほぼタブレットでの回答になっている。学校側の負担にならない方法を考えた方がいいと思われるので、ウェブ回答を勧める。今の中高生は打ち込むのが早い、また集計も楽ということもある。中学校は教育委員会で依頼するのだと思うが、高校はどういう形で依頼するか。

●事務局

それぞれの高校と包括連携協定を結んでいるので、直接高校に依頼する予定。

●委員

福津市に居住している高校生は様々な地域の高校に通学している。調査依頼をするのは福津市在住の高校生にした方が良い。広報紙に「ご協力ください」という形で、依頼文書を入れ込む方法がいいと考える。

市内の高校に通う高校生は福津市在住ではない方が多いので、高校への依頼は避けた方がよいと思う。

●委員

高校に依頼するのは避けた方がいい。

●委員

特定の高校の生徒のための中央公民館ではない。また、市内在住の高校生は様々な高校に通っているので、事務局の提案する調査方法では難しいと思う。

●事務局

市内の高校に通学する生徒を対象と考えていた。市内在住で市外の高校に通学する生徒の事は想定していなかった。

●委員

市外の生徒が中央公民館に押し寄せて、市内在住の生徒が使用できないような流れは作りたくない。

●事務局

児童センターフクスタは、市内在住、もしくは市内の学校に通う生徒が使用可能となっている。これに倣い、市内の高校を対象として考えていた。

委員の意見を踏まえ、調査方法については再検討する。

●委員

学校は文科省や県からの調査物等の対応で苦労していると聞く。今回のアンケート依頼で負担を増やすわけにはいかない。

●会長

中学校を対象にした場合、高校進学後も意識づけが出来るのではないか。アンケート調査後すぐに利用が増加するとは期待していない。現在、中央公民館について「知らない」という状況から「存在を知っていて活用方法も知っている」という方向にしていきたい。長いスパンで考える。

●委員

中央公民館は、受験勉強するだけの場所ではない。どういうビジョンがあるかという事が大切。

●委員

きっかけとしては、まず学習室活用でいいと思う。利用していく中で、大人が楽しそうに活用し、また壁面に公民館活用紹介を掲示しておくと、子どもにとっても理解しやすいのではないか。まずは、知ってもらうことが大切だと考える。広報戦略の一環でもある。アンケートの項目はいいと思う。調査方法は再度、検討した方がよい。

●委員

現場の意見として調査物が大変多いので、調査方法では紙ベースは避けた方がよい。子どももフォームから回答の方が慣れている。

●委員

生涯学習推進計画を作成する際、どのようなニーズがあるか分からなければ計画が作れない。今回のアンケート結果を活用したい。

●会長

児童センターフクスタが満員であることが多い、ショッピングモールやファーストフード店に行っている現状がある。塾の自習室を使うために塾に通わせていたこともあった。

古賀市は図書館で勉強ができる。福津市ではカメリアステージの図書館ではできるが、市立図書館ではできない。勉強出来る図書館があればよい。

もう一点、自分たちの体験活動を主張できる場としての側面。公民館が中高生向けの魅力ある様々な体験活動の場を提供すること、部活動の地域移行も含まれる。

また、項目の中に「キッカケラボを知っていますか」という文言を入れてはどうか。

公民館を利活用している市町村をリサーチすることをしていきたい。

アンケートは中学生中心に行う。その際、中央公民館の資料を添付すること。そして、学校側に負担にならないような方法で調査をしたい。

項目に、自宅以外のどこで学習しているかも入れてみては。

まずは現状を把握して利活用の方法を考えたい。

●委員

社会体育関係は表彰される場がないので、中央公民館で学校外での活躍を表彰される場にしてはどうか。

●事務局

毎年、コミュニティフェスタというイベントの中で、社会体育関係で活躍した生徒は表彰されている。

●委員

日常的に表彰内容等を壁面に掲示してあるのか

●事務局

フェスタ当日しか貼り出しあしていない。

●会長

映像を流すなどもやっていただきたい。

●委員

文言の修正をお願いしたい箇所がある。部活動の「地域移行」を「地域展開」に修正していただきたい。移行というと地域に丸投げのようなイメージになる。

●事務局

承知しました。失礼しました。

●会長

今後も郷育推進会議を「対話」の会議にしていきたい。

また、今後はメールで資料を送付して、事前に資料等に目を通していく形にしていきたい。アンケート調査の方法については事務局で改めて検討をお願いしたい。項目については引き続きこの会議で検討していきたい。

●副会長

先週末に福間中ブロック P T A 主催イベントが開催され、40 店以上の出店があり大変盛況だった。P T A 活動自体が衰退していく中で、子ども達のために活動されていることは大変意義があると感じた。

3. その他

次回開催日について

令和 8 年 1 月 28 日（水）18 時 30 分～ 市役所にて開催予定。